

ことしの予算の全体像

平成 28 年度当初予算の総額は 496 億 7,352 万 3 千円

一般会計当初予算の予算規模は、285 億 8,700 万円となり、前年度より 8 億 900 万円 (2.8%) 減となりました。前年度比較では減額していますが、庁舎整備事業費の減などにより、新市の当初予算規模としては 2 番目に大きなものとなっています。

特別会計全体の予算規模は、161 億 9,294 万 9 千円となり、前年度より 1 億 1,575 万 3 千円 (0.7%) 減となっています。これは、国民健康保険特別会計などの減によるものです。

企業会計全体の予算規模 (収益的支出と資本的支出を合わせた支出総額) は、48 億 9,357 万 4 千円で、前年度より 2 億 7,857 万 9 千円 (5.4%) 減となっています。これは、主に下水道事業会計の減によるものです。

当初予算額	
一般会計	285 億 8,700 万円
特別会計	161 億 9,294 万 9 千円
企業会計	48 億 9,357 万 4 千円
総計	496 億 7,352 万 3 千円

平成28年度の各会計の当初予算額

一般会計	285億8,700万円
特別会計	
簡易水道事業	8億1,429万6千円
農業集落排水事業	1,511万1千円
浄化槽整備事業	1億9,736万2千円
浅内財産区	333万6千円
常盤財産区	502万1千円
鶴形財産区	197万8千円
檜山財産区	247万1千円
国民健康保険	73億7,678万5千円
後期高齢者医療	6億887万9千円
介護保険	71億6,771万円
企業会計	
水道事業	16億4,913万3千円
下水道事業	32億4,444万1千円
総計	496億7,352万3千円



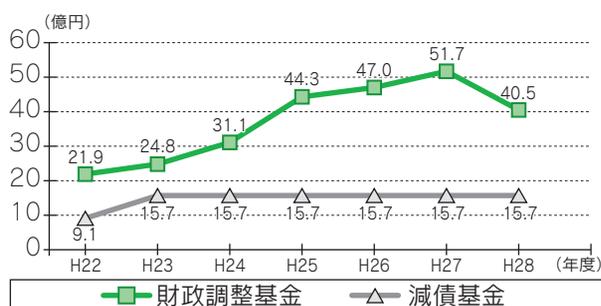
財政状況

能 代市の基金 (貯金) に、財源が不足する年度に備えるための財政調整基金と、将来の市債 (借金) 返済のための減債基金があります。平成 28 年度において、財政調整基金は 40 億 4,596 万 4 千円、減債基金は 15 億 6,507 万 8 千円となっています。これを合併直後の 18 年度と比較すると、財政調整基金は 24 億 6,774 万円増、減債基金は 15 億 6,452

万 6 千円増となっています。

また、市の借金である市債残高は、331 億 7,304 万 1 千円と、前年度より 15 億 4,465 万円 (4.9%) 増となっていますが、交付税算入のある有利な合併特例債や過疎債を活用しているため、市税等で賄わなければならない実質的な市債負担額は、73 億 999 万 3 千円と低く抑えられています。

財政調整基金と減債基金の推移



市債残高と実質市債負担額の推移

